

AJ

AQUA JOURNAL
Nature Aquarium
information magazine
Feb. 2023 100YEN

vol.
328

Special Feature

最新

N A

ネイチャーアクアリウム

探 究

The latest NA research

【卷頭グラビア】

NATURE IN THE GLASS

水中の大自然／スイングの調べ

ADA Review

【ADA NEW PRODUCT】

IAPLC CREATOR'S FILE #01【新連載】

【Eri Tokusashi / Japan】

ADA PLANTS GALLERY #14

【クリプトコリス・ウェンティ】

システムでタノシム #07【システムハレダ編】

LOVE ADA GOODS #07





©AQUA DESIGN AMANO

DATA

撮影日	2022年11月18日(ADA)
制作	荒木 大智(レイアウト制作・文)
水槽	キューブガーデン W90×D45×H45(cm)
照明	ソーラーRGB ×1(1日8時間30分点灯)
ろ過	スーパージェットフィルター ES-900(バイオリオ G)
素材	スリムウッド、山水石
底床	アクアソイル・アマゾニア Ver.2、パワーサンド・アドバンス M バクター 100、クリアスパー、トルマリンBC

C O 2	CO ₂ /バレングラス・ラージ300、CO ₂ ツイストカウンターで 1秒に4滴(タワー使用)
A I R	リリーパイプ P-4によるエアレーション 夜間消灯時15時間30分
添加剤	ブライティ K、グリーンブライティ・ミネラル、 グリーンブライティ・アイアン、グリーンブライティ・ニトロ
換水	1週間に1度 1/2
水質	水温25°C pH:6.2 TH:50mg/L

植物 アヌビアス・ナナ バリエガータ
アヌビアス・ナナ
アヌビアス・ナナ 'ブチ' (BIO)*
アヌビアス・キリン 'ミニ'
ボルビティス・ヒュテロッティ(ジャングルプランツ)*
ハイグロフィラ・ビンナティフida(BIO)*
ニムファ・マクラータ
スタウロギネ・レベンス(BIO)*
エキノドルス・テネルス(マティラ産)
エキノドルス・テネルス(BIO)*
オーストラリアンドワーフヒドロコティレ(BIO)*
グロッソスティグマ(BIO)*
ハイグロフィラ・ボリスペラマ
ルドウジア・グランデュローサ

Anubias barteri var. *nana* 'variegata'
Anubias barteri var. *nana*
Anubias barteri var. *nana* 'Petite'
Anubias sp. 'Kirin mini'
Bolbitis heudelotii
Hygrophila pinnatifida
Nymphaea maculata
Staurogyne repens
Helanthium tenellum 'Madeira'
Helanthium tenellum
Hydrocotyle tripartita
Glossostigma elatinoides
Hygrophila polysperma
Ludwigia glandulosa

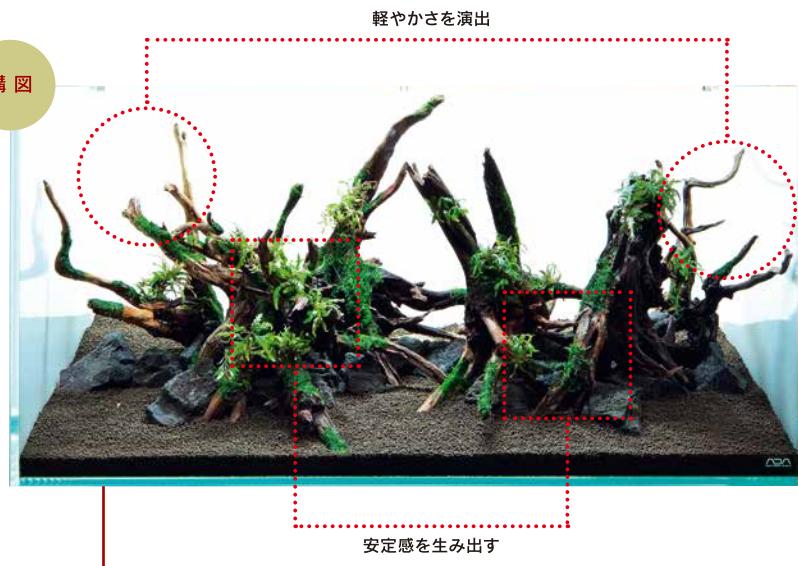
魚種 ミリオフィラム・マトグロッセンセ(BIO)*
ニードルリーフルドウジア(BIO)*
セイロン・ロターラ(BIO)*
ロターラ・マクランドラ グリーン(BIO)*
ロターラ・レディッシュ
ロターラ・福建省
ウイローモス(モスバッグ)*
カージナルテトラ
レインボーテトラ
ゴルデンハニードワーフグラミー[†]
ゴールデンコンゴテトラ
オトシンクルス
ヤマトヌマエビ

Myriophyllum matogrossense
Ludwigia arcuata
Rotala rotundifolia 'Ceylon'
Rotala macrandra 'Green'
Rotala rotundifolia 'Reddish'
Rotala rotundifolia 'Fujian'
Taxiphyllum barbieri
Paracheirodon axelrodi
Nemabrycon lacortei
Trichogaster chuna var.
Phenacogrammus aurantiacus
Otocinclus sp.
Caridina multidentata

※はADA生体製品ラインナップです。

水草の存在感を引き出す 構図と植栽

この水景は「水草の多様さ」をテーマに、中景は形や色のバリエーションに富むように水草を配し、背景には8種類の有茎草が使用されている。かなり多くの水草で構成されているにもかかわらず雑然さを感じさせないのは、スリムウッドを用いた密と疎の空間意識とそれぞれの水草が持つ個性を理解した植栽が一体感を生み出しているからである。



素材が持つ機能性

ホーンウッドのようなどっしりとした力強さとブランチウッドのような枝先の繊細さを併せ持つスリムウッド。メリハリのあるディテールは空間に奥行きや広がりをもたらし、圧迫感を抑えつつ迫力を出すという二面性に応えている。



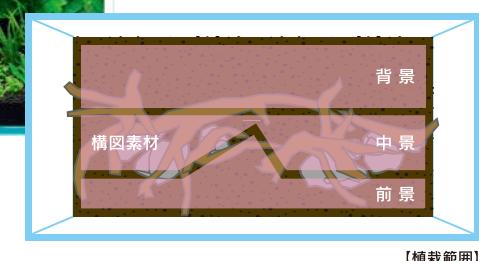
スリムウッド

通常とは異なる 植栽範囲

水草レイアウトは前景草、中景草、背景草の配植が基本となる。しかし、このレイアウトでは有茎草のボリューム感と種類数の多さに重点を置いていたため、構図素材をやや前方に配置し背景の植栽範囲をかなり広めに確保されている。その分、窮屈さが生じる前景のスペースには、構図のラインで入り江をつくることで空間の広がりを取っている。



2022年9月8日 撮影



[植栽範囲]

細部へのこだわり

前景には葉姿の異なる2種類の水草を植栽し、中景にもそのような工夫が施された。赤く色付く細い葉をもつエキノドルス・テネルスと淡い緑の長目の葉をもつエキノドルス・テネルス・マティラのわずかな違いを持つ水草が混生することで自然の臨場感を醸し出している。



色彩の効果

野生的な印象を与える水景は、繁茂した水草が構図的印象を弱めることで安定感が薄れてしまうことが多い。ここでは赤が映えるルドヴィジア・グランデュローサが2:3の位置に配植されることで全体の重心が明確となっている。

水草への理解が 織りなす大自然

レイアウトに使う水草の種類を増やすことは野生味が増し鬱蒼とした雰囲気が演出できる一方で、散漫な印象となってしまう可能性がある。生長した葉形や葉色を理解し個性の強いものと弱いものをバランスよく配植することで、それぞれの魅力がうまく馴染んだまとまりのある水景となる。



2022年11月18日 撮影

広がりを感じる工夫

水槽の両端に配したミリオフィラム・マトグロッセンセの群生は、他の有茎草よりもボリュームを少し抑えている。これにより生まれたスペースと水草がガラス面に反射することで、閉塞感を感じさせないシームレスな空間を目指した。



カージナルテトラ

熱帯魚の代名詞的存在であるカラシン。赤と青のツートンカラーが目を引き、水草の間を群れて泳ぐ姿は息を呑む美しさだ。



ニムファ・マクラータ

赤い葉面に深紅の斑が入る。横図の重心付近で水景のアイキャッチとなっている。

ハイグロフィラ・ビンナティフィダ



木流に活着させやすい代表種の一つ。モスやシダとのバランスを考慮した配植とした。



ゴールデンコンゴテトラ

黄色に青が混ざった爽やかな体色のアフリカンカラシン。主役として多彩な水草の色に負けない美しさを持つ。

レインボーテトラ



虹色に輝くボディが特徴で、成長した雄の赤い目と長く伸びる鰓は存在感をさらに際立たせている。

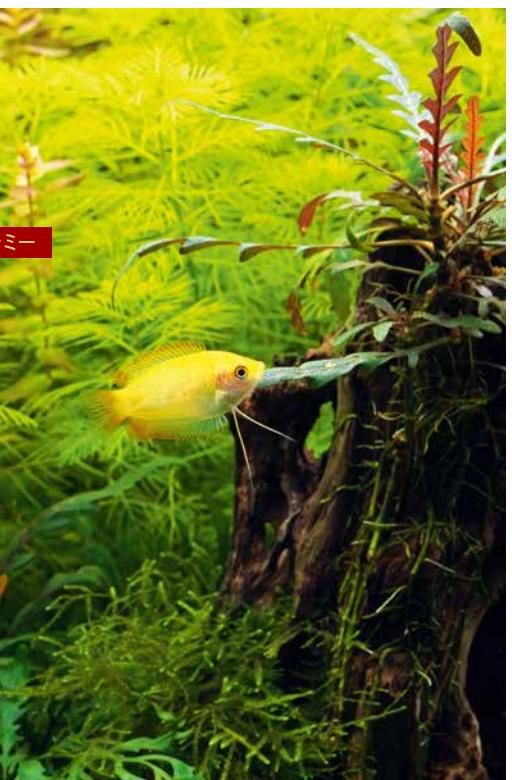


アヌビアス・ナナ・バリエガータ

基本に忠実な不正辺三角での配植を行い、過度に白色が協調されないよう植え分けている。

ゴールデンハニードワーフグラミー

特徴的な体形や動きがレイアウトの中でよく映える。水面で餌を待つ姿がかわいらしい。



イベント仕様の ネイチャーアクアリウム

ネイチャーアクアリウムにはレイアウトの基本があり、それに倣うことで観賞価値の高いレイアウトが制作しやすくなる。あとはそこに、いかに自分らしさやアイデアが盛り込まれかが、レイアウト制作のもう一つの醍醐味だつたりする。この水景は昨年末、大阪梅田で開催した「ADA LAB ssp. UMEDA」用に制作された作品であり、クリスマスシーズン真っただ中の阪急うめだ本店での設置という状況も踏まえてレイアウトプランが考えられた。普段は使用することの少ない斑入りのアヌビアスを使用したのも、雪をイメージしているためである。流木の陰に配植してあるのは、斑入り植物の色彩的な特徴をうまくいかすためでもあり、水景が暗くなり過ぎず効果的な使い方と言える。また、赤いニムファを前面に配しているのは、赤と緑のクリスマスカラーを強調するためでもあり、加えてイルミネーションのごとくネオンのように輝く魚をあえて多めに泳がせている。言うなれば、ADA水景クリエイターならではの「水中のメリークリスマス」という雰囲気をネイチャーアクアリウムで表現してみた、というのがこの作品に隠された制作秘話である。



昨年、大阪・阪急うめだ本店で実施されたイベントの展示水景として制作。クリスマスシーズンの季節感を色彩豊かな水景で表現する狙いがあった。



©AQUA DESIGN AMANO

DATA

撮影日	2022年6月30日(ADA)
制作	内田成(レイアウト制作・文)
水槽	キューブガーデン W180×D60×H60(cm)
照明	ソーラーRGB ×3(1日8時間30分点灯)
ろ過	スーパージェットフィルター ES-2400(バイオリオ G)
素材	ホーンウッド、山水石
底床	アクアソイル-アマゾニア Ver.2、パワーサンド・アドバンス L パクター 100、クリアスパー、トルマリンBC

C O 2	CO ₂ /パレングラス・ビートル500、CO ₂ ビートルカウンターで 1秒に5滴(タワー使用)
A I R	リリィパイプ P-6によるエアレーション 夜間消灯時15時間30分
添加剤	グリーンブライティ・ニュートラル K、グリーンブライティ・ミネラル グリーンブライティ・アイアン、グリーンブライティ・ニトロ
換水	1週間に1度 1/3
水質	水温25°C pH:6.2 TH:50mg/L

植物 ヘアーグラス(BIO)*
エキノドルス・テネルス(BIO)*
インティアン・クラススラ(BIO)*
ブリクサ・ショートリフ(BIO)*
ニムファ sp.イキトス
ニムファ sp.ペルーマルドナード
タイガーロータス・レッド
オレンジミリオフィラム
ロターラ・ロトンディフォリア 'レディッシュ'
ボゴステモン・メンメン
パリスネリア・ナナ

Eleocharis acicularis
Helanthium tenellum
Microcarpaea minima
Blyxa novoguineensis
Nymphaea sp. 'Iquitos'
Nymphaea sp. 'Peru Maldonado'
Nymphaea lotus
Myriophyllum sp.
Rotala rotundifolia 'Reddish'
Pogostemon quadrifolius 'Mengmeng'
Vallisneria nana

魚種 タイガー/パリスニア
パリスニア・スピラリス
タピヒュラム(モスバッケ)*
キラセリナ・センタニエンシス
メラノタエニア・セクスリネアータ
メラノタエニア・カマカ
セレベスレイボー[†]
サイアミーズフライングフォックス
オトシンクルス
ヤマトヌマエビ

Vallisneria neotropicalis
Vallisneria spiralis
Taxiphyllum barbieri
Chilatherina sentaniensis
Melanotaenia sexlineata
Melanotaenia kamaka
Telmatherina ladigesi
Crossocheilus oblongus
Otocinclus sp.
Caridina multidentata

※はADA生体製品ラインナップです。

水草だけの世界観が 感じられる構図と植栽

水草が主役になることを意識した本水景は、流木を寝かせるという構成により、長期維持の過程で水草が構図骨格を飲み込み、あたかもありのままの自然を目の当たりにするような表現となっている。また、複数の前景草が時間経過と共に混ざり合い野生的な趣が生まれ、さらに背景の赤系水草は少数を点在させるように植栽することで、穏やかで抑揚のある背景に仕上がった。



水草の生長を見据えた植栽

前景では植栽エリアを設けていないことで、時間経過と共に複数の下草が混ざり合い鬱蒼とした自然感が生まれている。また、背景にはバリスニアを間隔を空けて植栽しており、スイレンが浮葉を展開させても干渉しないように水草の生長を予測した工夫が見られる。

構図



無作為的な構図構成

三角構図は流木を立てて重心位置を左右のどちらかに置くのが基本となるが、本水景は流木を寝かせて緩やかな配置としている。これにより、水草が生長した際に構図素材が目立たなくなり作為的な要素を感じさせないようにしている。

流木アーチ下の配石

通常、石は流木の間に配石するなど安定させる目的で使用することが多いが、本水景では右手前の流木アーチの空間を埋めるように山水石が配石されている。これにより、水草が繁茂した際にも水景右側に多少の起伏が生まれて、完成後も全体的にフラットな下草の印象を緩和してくれている。



水草主体の水景維持

スイレンは、次から次へ水中葉を展開するため、適時間引く必要があるが、ここでは大幅な間引きを行わず若葉にしっかりと光が行き届く程度に留めている。また、背景のテープ状水草は、左側を少し多めに間引いており、これが右から左へ水が流れれるような水景表現につながっている。水草の生長を妨げ過ぎずにメンテナンスが行われることで水草主体の水景づくりがなされている。



明るい色調のスイレンとやや落ち着きのあるレインボーフィッシュの色彩によって水草のカラーリングが際立っている。

植栽

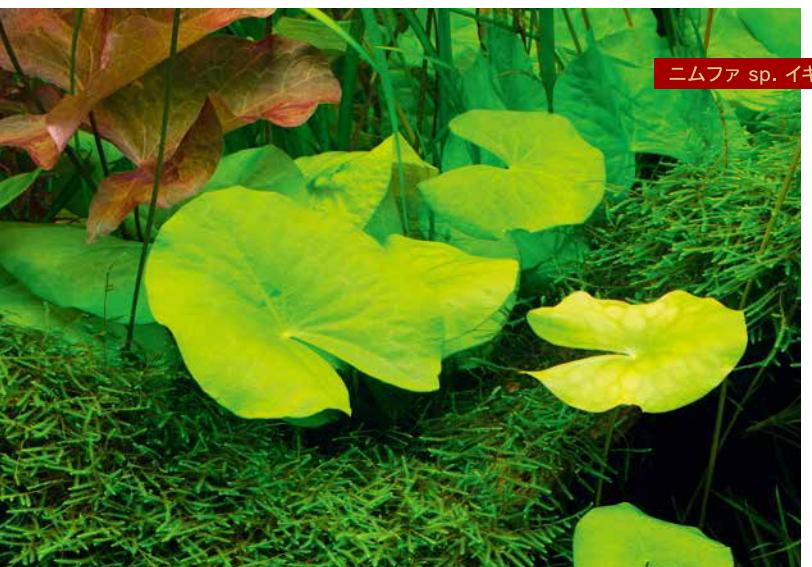


完成



赤系水草の配植によって 自然感が引き立つ

赤系有茎草は本来、構図の重心などにまとめて植栽するのが一般的だが、今回は左右と真ん中付近に数株をポイント的に植栽している。これにより、作為的ではない自然感あふれる印象が生まれている。



柔らかな明緑色をした葉を水中・水面に展開する。流木に寄りそうのような演出表現とした。



オレンジ色が特徴のレインボーフィッシュ。スイレンの赤色と合い水草と魚に一体感を感じる。



透明感のある体がレイアウトの水中感を際立たせ、爽やかさを演出している。



目立つ色彩を点々と植栽し、色調に抑揚をつけるかのような存在として機能させた。



群生させず数本単位で植栽することで、水流にゆらぐような視覚効果がより水中感を高める。

水草の力が生み出す 無作為の自然

ネイチャーアクアリウムの方法論として、隙がない構図や配植で景観をつくり込むやり方と、水草の生長によって流動的に景観をつくり上げるやり方がある。この水景は、後者のやり方で、まさにいきいきと生長した水草により景観がつくられている。構図骨格に使用した流木は主張しないようにあえて寝かせて配置し、水草の配植も明確な植栽範囲を設げず、各種の水草が混在するような配植となっている。そのため気負いのない「無作為の自然」が表現されている。これは余談だが、「無作為の自然」は天野 尚も水景制作で追求していたテーマの一つであり、それを実現するために各種の水草をランダムに混栽した「忙び草 有茎草MIX」を開発したほどである。この水景は、昨年夏に大阪難波で開催されたネイチャーアクアリウム展用に制作された作品の一つだが、じつは制作された直後にはADAスタッフの間でも賛否の分かれの作品だった。しかし、水草が生長するに従ってその制作意図が明確になってくると、スタッフの見方も変わり、イベントで展示された作品の中でもひときわ目を引く存在となつた。「水草と熱帯魚を楽しむ」というプリミティブな発想を思い出させてくれる、ネイチャーアクアリウム新時代の幕開けにふさわしい水景と言えるだろう。



昨夏、大阪で開催されたNA展で展示された。水草たちは旺盛な生長を見せ、印象派絵画のような水景として多くの反響を呼んだ。

NATURE AQUARIUM
EXHIBITION 2022
OSAKA
ネイチャーアクアリウム展
2022 大阪

マグネットライトスタンド MARU

ライティングシステムのスタートアップ

ケース栽培を手軽なサイズ感ではじめられるガラススポットMARUに専用ライトスタンドが登場しました。背景が白バックになることで栽培する植物の魅力が引き立ちます。



2023年1月発売

ネオグラス ガラスフタ サーキュレーションファン40対応

給気と排気でよりよい栽培を

サーキュレーションファン40を取り付け可能なネオグラス用ガラスフタ。ケース内に風を生むことで適度な乾湿差を設け、栽培できる植物種が広がります。また過度の多湿によるカビ発生の抑制やガラス面の曇りを解消する働きもあります。



ネオグラス ガラスフタ
サーキュレーションファン40対応
サイズ一覧
● 15×15(cm)
● 20×20(cm)
● 30×30(cm)

ADA NEW PRODUCTS

「楽しみ方をステップアップする新製品」

この冬、NAとDOOA、それぞれのラインナップで、植物育成をよりいっそう楽しめるグッズが新登場! ますます充実するケース栽培専用グッズやプロ仕様グッズを使って、普段の植物育成をステップアップさせてみてはいかがでしょうか。

2023年1月発売

プロツールバッグ II

充実のラインナップを使いやすく

ネイチャーアクアリウムのレイアウト&メンテナンスツールのためのプロ仕様ツールバッグです。多様なサイズと形状の各種グッズを取り出しやすい状態で収納できます。

ショルダーバッグやベルトポーチのように着用できる。水景の制作や管理をスタイリッシュに。



別売のADAクロスホルダーを付ければ、利便性がアップ。

IAPLC CREATOR'S FILE #01

Eri Tokusashi

徳差さんのSNSアカウント



PROFILE

徳差 江里

Eri Tokusashi

年齢 / 49才
国名 / 日本
職業 / 主婦
アクアリウム歴 / 12年
趣味 / スタートレック
(これを観ないと夜眠れない)
過去の受賞歴 /
IAPLC2016 49位
IAPLC2017 20位
IAPLC2018 45位
IAPLC2019 88位
IAPLC2020 28位
IAPLC2021 20位
IAPLC2022 11位

**ガラスで仕切った小さな自然を
生活空間の中に置くことで
心と体が元気でいられる**

Q 水草レイアウトを始めたきっかけは何ですか？

水草レイアウトチームCAJの主宰者タナカカツキさんに、天野 尚さんの『ガラスの中の大自 然』を見せてもらい衝撃を受けたのがきっかけです。こんな美しい世界があるのかと、息をのみました！

Q 水草レイアウトのどのようなところに魅力を感じますか？

自然科学的な要素と絵画的な要素が合わさつた表現方法であることに魅力を感じます。これほど私の好みに合ったクリエイションは他にはないと思います。ガラスで仕切った小さな自然を、生活空間に置くことは本当にすばらしいです。日々、自然と触れ合えるので、心と体が元気でいられるような気がしています。



Q レイアウトのテーマやモチーフ、アイデアはどこから得ますか？

日々の買い物のときに眺める、近所の公園の緑や道端の草などからヒントをもらっています。古今東西の絵画やその歴史からも大きなインスピレーションを得ています。

Q 水草や魚種の選定する上でのポイントについて教えてください。

生体や水草の育成技術がまだ未熟なので、丈夫でポピュラーな種類を選んでいます（ポピュラーなものは家計を圧迫しないのも嬉しいです）。もちろん、イメージに合う色合い、美しさや愛らしさも選ぶポイントとなります。どんどん増えてくれる色とりどりの水草が大好きです。生命力を感じるし、元気をもらいます。



愛用のツール。繊細な作業で役に立つ、プロ仕様の使い心地が魅力。



風の往く道 Aquarium Size W120×D50×H50(cm)

水 草:ヘアグラス/ショートヘアグラス/ベトナムゴマ/ハグサ/グロッソスティグマ/スタウロギネ/レベンス/ニューラージバーグラス/ロターラ・Hra/ロターラsp.香港/ロターラ・ナンセアン/ロターラ・ワリッキー/ロターラ・ワリッキーロングリーフ/ロターラsp.ベトナムレッド/ボゴステモン・

ダッセン/ボゴステモン・エレクタス/ルドヴィジア・レベンス・スーパーレッド/ルドヴィジア・オカリス/ニードルリーフドヴィジア/オレンジミリオフィラム/ミリオフィラム マトグロッセンセ/プリクサ・ショートリーフ/ミクロソラム・トライデント/ウォーターフェザー/南米ウローモス/フレイムモス
魚 種:ナノストムス・ベックフォルディ

Q レイアウト制作でいつも心がけていることがありますか？

作品をズバッと一言で言い表せるくらい、テーマをシンプルかつ明確にすることだと思います。そして、影とハイライトの形をカッコよく！ 水草は状態よくツヤツヤに育てることです。審査員の方が自分の作品を見てくれた瞬間、ハッとして良い気分になってくれるのが理想です。



影とハイライトのコントラストを意識したラフスケッチ。

Q レイアウトを制作していく過程で、苦労した点や工夫した点はありますか？

重い器具や素材を扱うことです。腕力がなくて本当に大変です。体を痛めないよう、短時間に分けて作業を行っています。IAPLCは真正面からカメラで撮影したものが作品となるので、肉眼だけで判断すると自分が思っていたイメージと違う仕上がりになってしまいます。特に左右両端と消失点の位置は、撮影して画像の状態で何度も確認するようにしています。

Q コンテスト入賞の秘訣はありますか？

自分がワクワクできる手法や新しい表現を取り入れる用心がけでいます。それがダメかダメじゃないかは、水草や生体たちが教えてくれます。ダメだったら、水草の育ちが悪かったり、魚やエビが居心地悪そうだったり

します。テストを繰り返して細心の注意を払いつつ、チャレンジはしていきたいです。

Q アクアリウムクラブに所属している場合は、活動内容をお聞かせください。

CAJ(Creative Aquascaping Japan)に所属しています。心置きなく水草の話を楽しむ場です。お互い制作途中のレイアウトを送り合って、大いに刺激を受けます。一緒に頑張れる仲間がいることは大きな力になります。

Q 世界中の水草愛好家の皆さんにメッセージをお願いします。

水草レイアウトは、学び多き最高の娛樂だと思います。必要な知識を学ぶたび、さらに興味が広がります。水槽の中の植物や生き物を観察するだけで、日常に良いバランスをもたらしてくれます。これからも水草レイアウトを大いに楽しみましょう！



メイキングの様子はタイムラプスで撮影し、自身のYouTubeチャンネルで紹介されています。



ADA PLANTS GALLERY

#14 *Cryptocoryne wendtii*

クリプトコリネ・ウェンティ

Text_Kota Iwahori

多様な生体製品を開発している
ADAの生産開発部 通称“グリーンラボ”。
このコーナーではラボで扱う植物の豆知識や
時折見せてくれる素顔の一部をご紹介します。

表情に富んだクリプト

クリプトコリネ・ウェンティはスリランカの西部から中央部にかけて分布する固有種です。水草ホビーの世界ではとても有名なクリプトコリネ・ウェンティも自生地の情報はあまり知られておらず、実はまだまだ謎の多い種でもあります。緑色や褐色、ハンマートーンなどさまざまな姿が存在し、かつては4つの変種に分けられていたこともあります。そんな謎めいた魅力が古くから愛好家や学者を虜にしていったのでしょうか。

現在では、あらゆる表情のクリプトコリネ・ウェンティを手軽に楽しむことができる。



セピア的効果の水草

クリプトコリネ・ウェンティは耐陰性を活かして、中景のやや暗い部分や流木の根元などに植栽しましょう。有茎草とは異なり生長は緩やかで、見ごたえのある株姿になるまでにはとても時間がかかります。しかしながら、ウェンティブラウンやミオヤなどは時間の経過とともにセピアカラーに茂ってゆき、他の水草には演出することができない独特な温かみや安定感を感じるレイアウトになります。



長期維持ならではの悠々たる群生。このようなシーンには東南アジアの小型コイ科の魚に群泳していくほしい。

生い茂るクリプトコリネ・ウェンティグリーン。ウェンティ種の中でも比較的小型で扱いやすい。



グリーン系のウェンティ

クリプトコリネ・ウェンティは緑色に繁茂するタイプもあります。ウェンティグリーンは、その名通り細身な緑の葉を展開させますが、かすれたように少し茶色が入ることも多く、前景草と流木の間や茶系クリプトコリネへのつなぎにも適しています。ウェンティ'リアルグリーン'は鮮やかな幅のある大きな葉を展開させますので、陰影を緩和したい部分や背景草の手前などに最適です。



水上栽培の楽しみ

クリプトコリネの水上栽培では、ヨーロピアンスタイルと呼ばれる栽培法が知られています。ミニアックな世界ではありますが個性的な花や葉姿を楽しむことができます。初心者にはウェンティ種から始めることをオススメします。多様なタイプがあり入手は比較的容易で、あらゆる底床や水質に慣れやすく失敗しにくいことも特長です。草体を観賞しやすいネオグラスエアーやガラスポットSHIZUKUなどでケース栽培にチャレンジしてみてはいかがでしょうか。

自生地の河川名で呼ばれるクリプトコリネ・ウェンティ'ミオヤ'を自生地スタイルで。

Shibata's monthly report

システムでタノシム

—システムパルダ編—

第7回 「つくるを楽しむ」

Point 01

構図は シンプルに

苔に覆われることを想定し、数本の流木を組み合わせて厚みを持たせ立体感を演出します。



SYSTEM DATA パレダライト30／システムパレダ 30／サーダクレーションファン 40／ミストフロー／システムパレダ 排水バーツ／ホーンウッド／ジャングルソイル／ジャングルベース／パワーコード S-70

PLANTS オオバチャウチンゴケ／コウヤノマンネングサ／ワラビツナギ／ハイホラゴケ／サイゴクホンゲウシダ／スナゴケ／シノブゴケ／スギゴケ／フィカス sp.ムルンラヤ／マコテス・サンデリアナ／アネクトキルス・ロクスバーガー／アネクトキルス sp.／エビデンラム・ボーバックス／マキシラリア・スピロタンサ・ピング／マキシラリア・ペルニコサ／ソネリラ・ドンナサメンシス

システムパルダ編スタート！

今回より幅30cmの「システムパルダ 30」で本格的なパルダリウムを楽しめます。こちらも前回までの「システムテラ 30」と同じく、植物の生長を楽しむために構図はシンプルに。ADAのジャングルプランツシリーズやジュエルオーキッドなどのランの仲間を中心としたレイアウトにしました。これまでの経験上、「システムパルダ 30」は細かな湿度調整が育生のポイントになります。光と湿度の関係を考え、それぞの植物に適した環境を見つけるところから始めていきます。

手軽にレイアウトと植物の育成が楽しめるDOOAのシステム水槽。その日常管理をNAC部屈指のメンテナンス技術者 柴田が実践を交えながらご紹介。今日も管理やってます！



NAC部
柴田 康文
植物とジムニーを愛す29歳。
先月、挙式。

Point 02

流木に 着生ランを植栽

花を楽しめるように着生ランを3種類植栽しました。水分保持のための根元の処理が大切です。



テラテープで保水力のあるベースをつくる。



ランの根を苔で包みテララインでしっかりと固定。

Point 03

ウォール部分の 配植も多様に

ツタ植物を適度に混ぜ、生長によって厚みが出たり流木に絡むことでレイアウトのアクセントとする狙いです。



ピンセットでツタの根や茎を苔に絡ませて植栽。

SHIBAの視点



ジュエルオーキッドが流木の陰で葉脈を光らせながら生長することに期待。

LADA
GOODS

ラヴ・ADA・グッズ

#07

NA CARBON

NA・DOOA・生体製品のさまざまなラインナップを展開するADA。ここでは各ジャンルの枠を超えてライターの好きなGOODSを紹介します。

濁り対応百発百中

飼育水の濁り、気になりませんか？ 最終的には原因の究明が必須になりますが、透明な飼育水への原状回復の一歩として換水または活性炭の使用といった対応が必要です。そこで重宝するグッズが高性能活性炭のNAカーボンです。酸処理済みのため飼育水のpHを変化させにくく、活性炭がつくられるときに生じるカリウムなどによって水質がアルカリ性へ傾く心配もありません。ネットに充填されているので手元にあればすぐだけで応急対応できる仕様が嬉しいです。およそ直径4mmの円筒型に成型された様相には小粒で頼りなさを感じてしまうかもしれません、断面から見てとれるように高密度で成型されており高品質の吸着性能を有します。炭素内部には細孔と呼ばれる極めて細小な空間が網目状に存在し、これによって比表面積が1gあたり1000m²ほどもあるのです。これによって黄ばみ、白濁、グリーンウォーターなど飼育水の濁りを狙い撃ち、すぐに飼育水をクリアな状態へと導いてくれます。そんな高性能活性炭を初心者でも手軽に使用できる「NAカーボン」が好きです。



STAFF CREDIT

Publisher 天野 しのぶ Art Direction NATURE AD DESIGN

Design 丸山 悟司／市川 亮／高遠 将史／板橋 広夢

Editor 杉本 俊輔／岩堀 康太／柴田 康文／小川 龍司／
吉田 壮佑／知念 政次郎
総監修・大岩 刚／写真監修・阿部 正敏

Published by
株式会社 アクアデザインアマノ

Printed by
株式会社山田写真製版所

AQUA DESIGN AMANO CO.,LTD.
©2023 Printed in JAPAN

NEXT AQUA JOURNAL
March 2023 vol.329
2023年2月10日(金)発売予定

アクアジャーナルの情報は一部、
ADAホームページで公開しています。
<https://www.adana.co.jp>

ADAスピリット “情熱”を燃やせ!

ADAとネイチャーアクアリウムの船出は、
先の見えない暗黒への挑戦だった。
唯一、その行く先を照らしてくれたのは、
太陽のように真っ赤に燃える“情熱”。
実現が困難なことも、
一見、無謀に思えることも、
そして、馬鹿馬鹿しく思えることも、
情熱を持って取り組むことで結果が残り、
それが積み重なって今のADAがある。

“情熱”はADAスピリットとして次代に引き継がれ、
未知への挑戦はこれからも続く。

若人たちよ、情熱を胸に、
フロンティア
“新たなる大地”に向かって前進せよ！



2023年、 ネイチャーアクアリウム新時代、 始まる。

<https://www.adana.co.jp>